

当院における妊娠希望患者の乾燥弱毒性麻疹風疹混合ワクチン(MR ワクチン)接種後の風疹抗体再検陰性例の検討

北山利江 (医療法人三慧会 IVF なんばクリニック)

【背景と目的】

一般的に風疹ワクチンを接種することで 95%以上の方が風疹ウイルスに対する免疫を獲得することができるといわれている。ワクチン接種歴からの抗体保有率の調査は散見するが、妊娠希望の不妊症患者での前向きな検討は検索した限り見当たらなかった。今回、当院で MR ワクチンを接種した患者について第 2 子希望などで再度風疹抗体 EIA の再検査を希望する症例の再検査の是非について検討した。

【対象と方法】

当院において 2014 年 9 月より 2018 年 12 月まで MR ワクチンを接種した 20 代から 40 代の不妊症女性 865 例について問診票での接種歴、その後の再検値、ワクチン投与からの期間、ワクチンのロット番号を検討した。

【結果】

上記 MR ワクチンを接種した患者 865 例のうち、問診票での以前の接種歴についての項目で、接種したとの選択肢を選んだ例が 332 例、特に風疹ワクチンであったと記載されている例が 172 例(19%)あった。再検査例は 46 例であり抗体価陰性が 30 例(再検例のうち 65.2%)であった。ワクチン投与日から再検までの期間は平均して陰性例 930 日、陽性例 891 日であった。また、陰性例と陽性例のワクチンのロット番号に偏りはなかった。陰性を確認後に再度 MR ワクチン接種した患者が 12 例であった。

【結語】

ワクチン接種後であっても、患者の希望で再検した場合は抗体陰性となる割合が高かった。ワクチン接種歴があっても妊娠を希望する場合は、先天性風疹症候群を予防するために再検査を行い、抗体が陰性であればその予防に努めるべきであると考えられた。また、ワクチン再接種の是非について若干の文献的思考を加えて報告する。